

インターネット利用と有効な時間について

「時間だけは神様が平等に与えて下さった。これをいかに有効に使うかはその人の才覚であって、うまく利用した人がこの世の中の成功者なんだ。」

これは、実業家の本田宗一郎氏が残した言葉です。あと10日ほどで小・中学生は、夏休みに入ります。それぞれの子どもたちが、それぞれの夏休みを送ることでしょう。夏休みの時間は平等です。子どもたちには、ぜひ有効に使ってほしいと思います。

時間の使い方で気になるのが、スマートフォンや携帯ゲーム機等の長時間利用です。平成28年度の内閣府による「青少年のインターネット利用環境実態調査結果」によると、青少年のインターネットの利用状況について、3つの特徴があげられています。

- 青少年の80.2%が、いずれかの機器でインターネットを利用。
- インターネットを利用する機器は、スマートフォン47.2%、携帯ゲーム機21.7%、タブレット20.9%が上位。
- スマートフォンの普及が進む。

また、青少年のインターネットの利用内容について、小・中学生別の特徴があげられています。

- 小学生では、ゲーム78.1%、動画視聴60.5%
- 中学生では、動画視聴74.0%、ゲーム72.8%、コミュニケーション67.2%が上位。

さらに、気になる利用時間の特徴は以下の通りです。

- 小学生は平均93.4分で、2時間以上の利用の割合が32.5%。
- 中学生は平均138.3分で、2時間以上の利用の割合が51.7%。

ノーメディアにすると、相当の時間を活用できると考えます。自分で使える今の自分の時間を、未来の自分のために有効に使うことを願っています。小中学生には、時間について家族で話し合っしてほしいと思います。

平成30年7月2日

長与町教育委員会学校教育課